

校長つうしん No. 7

Sapporo
Odori

2016.8.26

鈴木 恵一

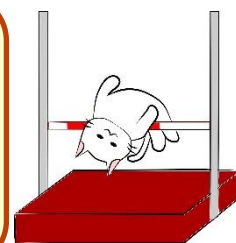
風をうけて

全国大会入賞 おめでとう！

＜全国大会結果＞

【陸上】 鎌田 莉衣奈(2年次) 走り高跳び **優勝**

【バスケットボール女子】 **3位** ★**優秀選手賞** 五十嵐 亜水(3年次)



負けること、失敗することはマイナスなのか？



入賞した選手諸君、おめでとう！そして、定通体連、高文連の全国大会へ参加した生徒の皆さん、お疲れさまでした。さらに、地区大会、全道大会で全力を尽くしたすべての皆さんを改めて讃えたいと思います。試合やコンクールに勝敗はつきもので、その結果に一喜一憂するのは自然な感覚です。しかし、勝った人も負けた人も貴重な「まなび」の機会を得ていることだけは忘れないでください。

リオ五輪は、私たちにいろいろなことを教えてくれました。勝負の世界では、よく「勝利至上主義」に伴う問題（体罰、暴力、パワハラ、セクハラ、アンフェアな行為、優勝以外は価値がないと言動など）が指摘されています。私たちが忘れてならないことは、「勝つこと」は素晴らしいけれど、勝利とは別次元に大切なものがたくさん隠されているということです。そこへ参加した選手は、いろいろな形で“見えない財産”を得ています。また、指導者（顧問）、チームメイト、周囲の応援者、大会運営スタッフから、かけがえのないものを貰っています。これらのことに気づき、その後の人生の糧にしていけることが大切なのです。

人生には成功や勝ちを意識した取り組みをしなければならない場面はたくさんあります。進学や就職、検定試験を思い起こしてください。これらの試験は本当の一発勝負であり利害が凝縮されています。合格者の背景には不合格者がいます。はっきりと明暗が分かれてしまいましたが、どんな結果になろうと、プラスに転化していく思考とさらなる努力、チャレンジ、そして支えてくれた人々への感謝の気持ちが必要です。

これから学校祭があります。そして3、4年次は進路に向けてチャレンジする時期です。みんな、ガンバレ！



テクノロジーがもたらしたもの

実は鈴木、商業の教員なんです。

今ではすっかり錆びついてしまいましたが、情報処理でプログラミング言語も教えていました。教員になった昭和 60 年、赴任校の先輩から「これからはコンピュータの時代だ。授業で教えるんだから借金してでもパソコンを買いなさい」と言われました。当時の価格で給料4か月分相当。借金生活でした。でも、授業で使用していたコンピュータは、いわゆる「汎用機」と呼ばれ、普通の教室には入りきらないほど凶体のデカイ大型コンピュータでした。なのに学校にはない小型のPCを買わされたんだ！と憤慨したものです。しかし、その1年後、道内の商業・工業高校にPCが配備され、瞬く間に世の中に普及しました。



インターネットなんてまだない時代です。(正確にはインターネットの基礎技術やパケット通信の原型は1960年代から存在)。確かに、コンピュータの発達はものすごい勢いでしたが、30年後にスマホが普及するなど誰が想像したでしょう。しかも、「ポケモンGO」まで……



スマホの技術進化も目を見張るものがあります。カメラも画素数と記憶容量が増えて画質のよい写真が撮れるようになりました。画像補正ソフトのおかげで、色彩やコントラストを自由自在に変え、傷、シミ、シワも簡単に除去できます。こうした技術の普及に貢献したのがアプリだそうです。

コンピュータやスマホ、タブレットの普及により、私たちの生活は便利になりました。いずれ人間労働のかなり多くの部分をロボットが担っていく時代がくるという予測も現実的になってきました。それは新たな「雇用問題」が発生することを意味しています。

もうひとつの問題点として指摘されていることは、使い手がテクノロジーに振り回され、思考することが失われてしまうこと。文字入力、日本語入力変換の機能が格段に向上したおかげで、素人の文章ほど難しい漢字の使用率が高くなっています。漢字を使えば賢そう？ 話し言葉でもなんだかよくわからない難しい言葉で、耳に入ってこないという経験はありませんか？ 気になって仕方がなく、そのことを考えているうちに、話がどんどん先へ進み、聞く気持ちが失せてしまう……共通言語として浸透していない難解語、専門用語、外来語、和製英語も氾濫しています。実は伝えたいことが伝わっていない、ということは往々にしてあります。夏期休業前の校長講話を覚えていますか？ 「伝える」と「伝わる」は違うという話。伝えたつもりが伝わっていない。校長は「伝えたぞ」と自己満足……



文字も同じです。一般的には常用漢字 2136 字 (2010 年改定) さえ押さえておけばよいのですが、著作物や公用文、マスメディアでは「かな書き」を推奨する言葉もあります。物事には、時には捨てたり、ゆるくしたり、わかりやすくしたほうがよいことがあります。

テクノロジーに振り回されていると、ツルツルピカピカの加工写真と難しい漢字の並んだ文章ばかりになって、コンテンツとしてどうなの？ というものになったりするわけです。そんなことを言い始めたら、気軽に校長通信は書けないなあ、などと思ったりもしている今日この頃……いやいや、テクノロジーの発達にせいにしちゃいけませんね。人間には知恵があるのです。知恵を生かすには、得た知識を活用・応用して思考することが大切です。本当に身に付けるべきことは何か、あなたなりに考えてください。